

◆◆◆立春◆◆◆

春立つや あかつき闇の ほぐれつつ

久保田万太郎

■今日は節分。そして明日が「立春」。

改めて立春について検索してみますと次のような説明がありました。

立春は、二十四節気において春の始まりとされる日。節分の翌日です。

二十四節気は紀元前の中国で生まれた太陽の動きに基づいたこよみです。

1年を4つの季節に分け、

さらにそれぞれの季節を

6つに分割しています。

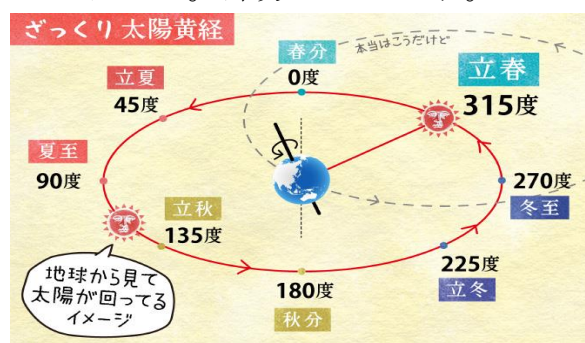
$4 \times 6 = 24$ なので二十四節気、
ということですね。

2023年の立春は2月4日。

これまでもずっと2月4日だったのですが、

2021年は「1分差」で2月3日が立春でした。

現代の日本では国立天文台の観測によって、「太陽黄経が315度になった瞬間が属する日」を立春としています。



■「立春とは名ばかりで…」とはよく耳にする言葉ですが、ここ数日は寒が緩み、

朝、子どもたちを迎えるときにつけていた分厚い手ぶくろもそろそろ外すことができそう。

子どもたちの「おはようございます」の声もこれまでよりも大きく、力強く聞こえます。

春はここにもゆっくりと、確かに近づいています。